

市民の目線で選ぼう！市政のトップリーダー

# 明石市長選で 公開討論会

入場  
無料

3月31日(火) 夜7時～9時30分(6時30分開場)  
明石市民会館 中ホール(市役所前)

◆どなたでも参加できます◆

4月19日に告示される明石市長選へ向けて、3名の立候補予定者が名乗りを上げ、選挙戦に走り出しています。一人は明石市長選初の女性候補で、出版社代表の無所属・増田幸美氏(53)。二人目は自民党県会議員で同党が推薦する榎本和夫氏(58)。三人目に立候補表明した現職で再選をめざす泉房穂氏(51)。現時点ではこの3氏による三つ巴の展開となる公算が大きい。

21世紀に入って、すでに15年。明石市政はめまぐるしい市政のかじ取り役の変転で、山積する課題解決への道筋が見えない。明石市政の課題を市民と候補者が共有し、市民が確かな目線で明石のトップリーダーを選択できるよう、3氏の出席のもとに3月31日(火)に下記の通り公開討論会を開催します。

明石市の将来に間違いのない選択をできるよう、市民の目線で公開討論会に参加しましょう。



明石市は5年前、明石市の“憲法”である「自治基本条例」を施行し、「市民の参画」と「協働のまちづくり」「情報の共有」を市政運営の基本原則に定め、新しい自治体づくりに踏み出しました。

しかし、市民自治への歩みは、基本条例施行直後に当時の市長が不祥事を追及され、その資質を問われて市議会が全会派一致で問責決議を可決し退陣。新しい市長の下でもこの4年間、市民自治に基づく新しい自治体とまちづくりが足踏みしています。振り返れば、2001年の大蔵海岸花火大会事件の責任を問われて当時の市長が任期途中の退陣に追い込まれて以来、明石市政の混迷と低迷が続いていることになります。

具体的な市政の課題は、財政窮迫が募る一方、海峡のまち明石の顔であった明石フェリー(たこフェリー)は休止から航路廃止に至り、半世紀にわたって明石の海の玄関であったフェリー埠頭も売却され、高層マンションの建設でシンボル道路からの海峡景観が損なわれてしまいました。

中心市街地の玄関でもある明石駅前はいま、明石駅構内も

含めて工事中の板囲いが張り巡らされ、ゴーストタウンの様相すら生じています。高さ百メートルを超える超高層マンションを含めた駅前再開発事業は、市民が住民投票にかけるように直接請求しましたが、市議会の強引な反対で建設を推し進めています。大蔵海岸の埋め立て事業をはじめアスピア明石の再開発事業に次いで、巨額の税金を投じた駅前再開発が、新たな財政負担として市政の将来に暗雲が漂います。

こうした市政の課題を、市民とともに解決する確かなかじ取り役を選ぶのが、今回の選挙です。

そのためには、市民の参画を高める仕組みをつくり、市役所職員の能力を引き出し、市民と協働してまちづくりを進めるリーダーシップが、市長には必要です。そうした選択する目を磨き、「市長を選ぶモノサシ」になる「市民マニフェスト」(2015年版)をつくりました。広く市民の意見を求め修正加筆したうえ、公開討論会の質問事項に盛り込みます。

市民マニフェストを手がかりに、市長選公開討論会で立候補予定者の政策や姿勢を吟味しましょう。

市民自治あかし  
ニュースレター号外

# 市民の声が生きる 「分権・自治のまちづくり」をめざそう

## 市民マニフェスト(2015年版)案

自治基本条例に基づき、明石市はこれから何を、どのように進めていくのか。市民マニフェストは——明石のまちの都市像をイメージしながら、市政のありようを市民自らの手で描き出し、市長候補と職員ならびに議員、そして市民に広く具体的に提示するものです。

4年前の市長選挙で市民団体が初めてまとめて、立候補予定者に対応を問い合わせました。

2度目にあたる今回は、昨年末から市民自治あかし内部で素案をまとめ、議論を重ねた原案を3月初めから市内6カ所で開く討論集会で説明し、意見交換しています。最終版を公開討論会で発表します。

### 政策選挙を進めるために 市民が主役の

#### 市民マニフェスト〈3つの目的〉

**第1は、明石市が置かれている厳しい市政の課題に対して、主権者である市民自らが政策を考え提起する、自治基本条例に基づく市民の責任を果たすための、市民が政策を考える市民自治の実践です。**

**第2は、市政と議会の改革を進めていくことを行政まかせにせず、市民参画の機会として大事にする。**

**第3は、住民自治をめざす自治体では、市民が選挙に一層主体的に関わる必要があります。候補者を選ぶ基準を、市民自らが掲げて候補者に選択を迫ることから、市民自治の社会が始まります。**

#### 自治・参画の基本

##### 1.市民力の向上を図る仕組み

- 施行後5年目に入る市民参画条例の抜本的見直しと、条例づくりへの市民参加の徹底を図る
- 「協働のまちづくり」の仕組みには、地域住民が全面的に参画する
- 市民活動支援のあり方と支援センターの検討委員会を設置する
- 人材発掘と政策提言の場として三百人規模の「明石市民会議」を創設する
- 検討委員会の答申に沿った住民投票条例を早期に成立させる

##### 2.行政運営の原則と組織の改革、職員の意識改革とモラールアップ

- 自治基本条例の見直しを行い、市政運営の原則と仕組みを検証し、抜本的な改革を進める
- 「カラ割り」職員研修で市民との協働、縦割り行政の脱却を図り、職員の能力を發揮する
- 産業、環境、都市計画、市民活動の支援について隣接自治体との広域行政を推進する

##### 3.情報の共有

- 情報共有を進めるために、意思形成過程の情報も含む等の情報公開条例の抜本改正を行う
- 市民が行政情報を容易に接することができる双方向での情報の受・発信システムの構築
- 市役所のHPを「見たくなる明石ネット」のようなコンテンツに改善する
- ネット活用教室を市民センターや自治会レベルで出前開催し、ネット活用の目標数値を立てる
- 市民センターで行政情報の閲覧・配布、市民活動や生活情報の掲示・閲覧・配布を行う
- 審議会等の諮詢機関は、傍聴者の発言機会を保障し、資料提供や速やかな情報開示を行う

"市民の政策"を  
市民マニフェストで実現させよう！

紙面の都合でマニフェストの内容を要約しています  
市民マニフェストの全文はホームページでご覧いただけます  
<http://shiminjichi-akashi.net/>  
郵送等をご希望の方は当会までお問い合わせください



#### 個別具体的な政策

##### 1.安心して住み続けられる福祉のまちづくり

- 障害者の就労と地域での自立した暮らしを支えるための住まいの確保
- 介護と福祉、医療が連携し、高齢者・障害者の生活を支援する行政サポート体制を確立する
- 地域福祉計画を小学校区単位に再構成し、協働のまちづくり組織と連携する
- 都市内の「買い物過疎」解消計画を策定し、商業者とコミュニティが一体になって解決する

##### 2.地域で担う教育と子育て文化を高めるまちづくり

- 学校と地域との結びつきを強化する
- 子育て支援や学童保育も地域の自律的な活動を強め、連携と充実を図る

##### 3.明石らしい環境を生かした生活と産業の都市づくり

- (1)「海の玄関」明石港の再生と市中心街地の活性化
  - 明石港一帯と周辺の活用、再整備。砂利揚げ場の移転・撤去と跡地の活用
  - 人と車の淡路航路を確保・強化し、安定した運航を維持させる施策の推進
  - 明石らしさを回復する明石駅前中心市街地の整備
  - 明石駅前一帯のゴーストタウン化を避ける対策と駅前再開発計画の事業内容の見直し
- (2)農・水産業を生かした明石らしい産業のまちづくり
  - 漁業の振興と農地を活かした新しい一次産業を明石の重要な産業とし、雇用吸収力を高める
  - 生産、加工、流通、消費(飲食)、アミューズメント、食育も連動した“海業”的まちづくり
  - 市民農園を組織的に導入し、後背地の農地も結んで食と暮らしの一体化都市をめざす
- (3)財政再建と環境立市(志)の都市づくり
  - ハコもの事業の凍結と、市民参加で必要性を洗い直し、徹底的に見直す
  - 市街地の遊休土地や施設などの遊休資源を徹底的に利・活用する方策を推進する
  - ゴミゼロエミッションの推進
- (4)明石の自然環境を豊かにする
  - 生物の多様性を維持・創出するための水と緑・海洋の一体的整備を進める
  - 生物多様性への理解と環境教育・学習の場の提供を市民協働で進める
  - 希少野生動植物種の実効性のある保護策。貴重な里山である松陰新田の保全等